

抽象化のスライダー一覧

抽象化1・図書室で考えた場合

オブジェクト1・「司書」

役目: 司書

情報: 名前、年齢、肩書(チーフ等)

動作: 本を貸し出す、本を見つける、カードを作る

オブジェクト2・「利用者」

役目: 一般的な利用者

情報: 名前、年齢、貸借カード ID

動作: 本を探す(検索)、本を借りる、勉強する

オブジェクト3・「本」

役目: 本

情報: タイトル、ジャンル、分類番号、出版社

動作: 知識を提供する ... ?

抽象化2・課題

抽象化で抜き出したオブジェクトのうち、クラスにしやすいのは

・司書

属性: 名前・年齢・肩書・勤務時間など

メソッド: 本の場所を教える、本の貸し出しを担当する、本を整理する など

・利用者

属性: 名前・年齢・貸借カード IDなど

メソッド: 本を探す、本を借りる、図書室で勉強する、本を読む など

と考えられる。

本についてはインスタンス化することは可能だが、具体的なメソッドを考えたときにどうなるのかがよくわからない。